

菊池隆さん ⑧

遅い歩みながらも、復興は着実に進んでいた。釜石市の平田第6仮設団地でも、2014年あたりから仮設住宅を出て災害公営住宅や再建した自宅に移る人が目立つようになってきた。

菊池隆さんとみつよさん夫妻も15年7月、兄弟や友人が住む盛岡市に、終つひのすみかとなるマンションを買った。だが、仮設団地の自治会事務局長の仕事は続けた。月の3分の2を盛岡で、3分の1を仮設住宅で過ごす生活を始めた。自治会の役員は1人、また1人と団地から去っていった。17年に

退去続き自治会休止に

入ると、会長を含め4人の役員が退去することになった。なり手が見つからず存続は困難との判断から、4月の総会で自治会の活動休止が決まった。菊池さんは7月までに残務整理を終えた。

ここで仮設団地から完全に縁を切っても、文句を言う人は誰もいないだろう。だが、菊池さんは8月以降もボランティアで活動を続けた。数は減ったが今も来てくれる支援団体のコーディネーターや草取り、ごみ集積所の管理など、以前と同じく続けた。「人が住んでいるかぎり、誰かが引き続きしなければならぬことだから」